

弘前市岩木観光施設事業経営健全化計画の平成 2 2 年度実施状況

( 青森県弘前市 )

( 岩木観光施設事業特別会計 )

第 1 計画と具体的な措置の状況

( 1 ) 収入改善に関する事項

料金体系の見直し

使用料の見直しについては、近隣スキー場の動向を参考としながら行うこととしており、近隣スキー場では、近年リフト料金の改定は行われていないため、当面は使用料の改定は行わず現状維持としていくこととした。

入込客数の増加 ( 入込客数 平成 2 1 年度 1 9 , 6 9 3 人 平成 2 2 年度 2 7 , 1 4 3 人 )

利用客のニーズに合わせた魅力的な商品及びサービスの充実を図り、さらに底辺拡大イベントを開催した結果、入込客数が増加した ( 数値は平成 2 1 年度 平成 2 2 年度 ) 。

・ファミリー優先駐車場	2 5 3 件	2 9 4 件	・無料スキー預かりサービス	5 0 4 人	7 1 6 人
・シニアレンタル無料サービス	1 2 8 人	1 5 2 人	・無料シャトルバス	7 1 0 人	6 6 3 人
・スキーパック及び温泉入浴券	1 , 5 7 0 人	1 , 1 8 8 人	・市民スキー教室等	2 5 5 人	2 4 4 人
・雪遊び等体験	7 0 0 人	5 5 5 人	・キッズキャンペーン ( 4 歳 ~ 7 歳 )	6 0 9 人	6 0 6 人

一般会計繰入金

計画どおりに一般会計から繰入れを行った。

・平成 2 1 年度 7 0 , 0 0 0 千円 平成 2 2 年度 7 0 , 0 0 0 千円

( 2 ) 支出改善に関する事項

大規模改修経費

計画的なメンテナンススケジュールを組んで、経費支出の平準化と軽減を図った。

・平成 2 2 年度では、第 2 ・第 3 リフト総合指令用シーケンサ更新工事を行い、概ねスケジュールどおりにメンテナンスを行っている。

指定管理内容の検討

より効率的な管理運営体制を構築するために、平成 2 2 年度から岩木山百沢スキー場の指定管理者である財団法人岩木振興公社がそうまロマントピアスキー場の管理も行っているため、兼務している有資格者等の職員に係る経費配分を精査し、経費削減を図っていくこととした。

## 第2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A		10,994	9,261	118,379	131,947	131,947	131,947	130,272
解消実績額 B		6,793	11,443	-	-	-	-	-
現在計画 C		6,793	11,443	118,379	131,947	131,947	131,947	132,291
B - A 又は C - A		4,201	2,182	0	0	0	0	2,019
資金不足額	664,747	657,954	646,511	528,132	396,185	264,238	132,291	0

## 第3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 \ 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	備 考
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値	計画値	計画値	
資金不足比率	1,879.4	1,789.4	2,106.3	1,815.4	1,955.2	1,482.0	1,110.3	738.6	366.9	0.0	計画値と実績値の差異の理由は、欄外記載のとおりである。

計画値と実績値の差異の理由 平成22年度は、好天に恵まれ、平成21年度と比較し収入額が伸び、累積赤字解消額は計画値を超えたが、同年度で計画どおり資金不足額を解消できず、同年度の資金不足比率の実績値が高かったことから、平成22年度の資金不足比率が高くなったため。

## 第4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

弘前市内の4スキー場について、庁内関係課による検討会議で在り方等について検討を行った結果、今後は、岩木山百沢スキー場について、地元関係者等へ説明し、及び協議し、並びに代替策を提案するとともに、市民からの意見収集等を行い、課題等の洗い出しやその解決のための作業を進めていくこととした。